

平成18年4月1日から「麻しん、風しん」の予防接種の受け方が変わります!!

麻しんは乳幼児期にさしかかると高熱をともなると、ときには重篤な後遺症も発症します。麻しんワクチンの接種によって、多くの赤ちゃんが予防できました。しかし、いまだにこのワクチンを受けていない赤ちゃんもいて、世界から日本は麻しんの輸出国という汚名を着せられています。また、乳幼児期に接種したワクチンの効力が、大人になると落ちてきてしまいませす。他の国と同様に小学校入学前にも二度接種する必要があります。

風しんは乳幼児期にかかってもごく軽く済んでしまつて、なぜかなとしか感じないで終わってしまうことがあります。そのために、風しんの予防接種を受けずに大人になってしまう人が多くなります。特に女性が成人に達し、結婚、妊娠の年齢になったとき、風

しんの免疫がなく、妊娠中にかかってしまつたら「先天性風しん症候群」ということで胎児に影響が生じます。

これまで「麻しん、風しん」の予防接種は別々に、決められた年齢の時期に接種していましたが、平成18年4月1日から2種混合ワクチン（乾燥弱毒性麻しん風しん混合ワクチン）となって使われます。予防接種の対象者は次の通りです。

【第1期】1歳から2歳までの1年間

【第2期】小学校入学前の1年間（5歳から7歳までの翌年小学校に入学されるお子さん）

なお、平成18年3月までは従来の予防接種法に基づいて行なわれますので、地域の保健センターやかかりつけ医に相談されて対応してください。

読者の
お便りにも答えします。

医師会へのご質問は中綴じの「はがき」をご利用ください。なお、個別の病気のご質問には応じかねますので、ご了承ください。

Q 成人病検診と人間ドックは、どう違うのですか？ また、選ぶ場合の基準を教えてください。

A まず「成人病検診」についてですが、かつて成人病とは高血圧症、高脂血症、糖尿病、肥満などを称した病気でしたが、近年になって、好ましくない生活習慣がもとで発症するものとの考えから「生活習慣病」と呼称が改められました。これによって、生活習慣病は

大人だけでなく学童にも当てはまる病気になりました。

成人病検診は、生活習慣病を主にした成人特有の病気を検査・診断するもので、これまで言い慣れていたことから成人病という言葉がまだ残っているというわけです。

それに対して「人間ドック」は、トータルヘルスケア（総合健康管理）という理念に基づいた予防医学からなっていて、頭部のCTや各臓器のがんの検査まで細かい検査項目が

0・8%相当は、今回の調査目的を医療機関と入院患者の方々が正しく認識・評価しただけだった表れであり、調査の精度の高さを裏付けるものと存じます。誌上を借りて、重ねてご協力に感謝申し上げます。

入院患者実態調査では、最も患者数の多い年齢階級は85歳以上（7463人）、前回と比較して最も患者数が増加したのは精神科（2994人増）、最も患者数が多かった疾病群は循環器系の疾患（患者全体の23・7%）、患者流動については地域的な偏在が顕著であるなどがわかりました。

医療施設設備調査では、前回と比較して標榜科目が最も増加したのはリハビリテーション科（28施設増）、同じく最も減少したのは小児科（13施設減）、人的構成（人口10万人対医療従事者）における常勤医師は4640人（前回より345人増）で非常勤医師は5501人（同685人増）と医師不足が加速しているなどがわかりました。

「2004年度千葉県医療実態調査」報告書は、千葉県および県医師会のホームページに掲載をし、医療機関関係者はもとより一般にも公開されます。調査結果が千葉県ならびに各地域保健医療計画の改定に有効に活用され、県民の皆様が安心して医療サービスを受受できる医療供給体制が整備されることを願ってやみません。

「健康メモ」放送予定

NHK千葉放送局のFMラジオ番組「ひるどき情報ちば」(11時~12時)内で放送(周波数:千葉80.7/銚子83.9/勝浦83.7/館山79.0)。放送テーマ、出演医師は変更になる場合があります。なお、第1火曜日は歯科領域がテーマとなります。

3月14日(火)
膀胱炎について
真鍋 溥 医師 (真鍋医院院長)

3月28日(火)
パニック障害について
木村 直人 医師 (磯ヶ谷病院副院長)

4月11日(火)
たかが貧血 されど貧血(仮題)
石毛 憲治 医師 (国保旭中央病院血液内科部長)

4月18日(火)
鼻中隔わん曲症について
内田 勝久 医師 (県医師会編集広報委員)

そして、セカンドオピニオンは専門外来に限らず、どこの診療所・病院でも求めることができます。現在の主治医に相談し、それまでの検査結果等を借りて紹介先へ出向くというのが一般的で、これは保険診療の範囲でできるセカンドオピニオンです。

太田 豊(吉井耳鼻咽喉科医院)

A 私達医師の仕事は、皆さんの訴え、症状から病気を正しく診断し、最善の治療をすることです。その意味からも、患者さんが主治医以外の医師の意見を求めるセカンドオピニオンに対しては、お奨めするのが医師として当然の態度だと考えます。少しでも疑問や不安があつたら、主治医に相談したり、場合

によってはセカンドオピニオンを求めることに躊躇する必要はまったくありません。専門外来を利用される場合は、担当の医師が必ずしも皆さんがご相談になりたい病気に關して専門知識を持つていたとは限らないこと、保険外診療のため費用が割高になることを、あらかじめご承知おきください。県内でセカンドオピニオン専門外来のある病院は、千葉大学医学部附属病院、亀田総合病院、下志津病院、国立がんセンター東病院、県立病院(4月からの制度化に向けて準備中)等です。時間は20分または1時間を設定しており、料金は1万5000円~2万円の範囲となっております。

Q セカンドオピニオンの専門外来が増えているようですが、主治医は患者がセカンドオピニオンを求めることに對してどう思われるのでしょうか? また、県内のセカンドオピニオン専門外来の開設状況、目安となる料金を教えてください。

用の点を考えると、各市町村で行なっている「基本健康審査」でも十分です。要精査の診断が出たら、必ず医療機関を受診してください。秋葉則子(秋葉クリニック)

含まれています。基本的な検査項目では、成人病検診も人間ドックも現在は、あまり差がなくなっています。選ぶ場合は、ご自分で調べたい検査項目があるほうか、または検診機関にご相談されるのも一つの方法です。費

よつてはセカンドオピニオンを求めることに躊躇する必要はまったくありません。専門外来を利用される場合は、担当の医師が必ずしも皆さんがご相談になりたい病気に關して専門知識を持つていたとは限らないこと、保険外診療のため費用が割高になることを、あらかじめご承知おきください。県内でセカンドオピニオン専門外来のある病院は、千葉大学医学部附属病院、亀田総合病院、下志津病院、国立がんセンター東病院、県立病院(4月からの制度化に向けて準備中)等です。時間は20分または1時間を設定しており、料金は1万5000円~2万円の範囲となっております。

千葉県内医療施設
検索サイトのご紹介

医療施設検索サイトは、以下のQRコードからブックマーク登録ができます! ぜひ、ご利用ください。

<http://www.chiba-1.med.or.jp/medicadb/i/>



嶋田 賢 会長

機関との連携を強化し、さらには市民の皆様には質の高い医療を享受していただくことを常に考え、事業を推進して参ります。

銚子市医師会は、昭和22年に公益法人として社団法人銚子市医師会が設立され、今日まで地域医療の推進に寄与して参りました。昨年8月、当医師会にとりまして、長年の懸案でありました医師会館が完成をいたしました。今、市民の皆様の医療に対する要望が増す中で、この医師会館を当医師会の事業活動の拠点として、大いに活用を図り、市民の皆様が安心して医療を提供するため努力して参ります。そのためには、高度医療・高齢者医療などが根幹となる重点的な整備を行なうとともに、関係

<http://www.chiba.med.or.jp/choushi>

地区医師会へ
ようこそ

19

銚子市医師会



医師会事務局
銚子市清水町3177-1

☎ 0479(22)5605